



今月の特集はカラーコンタクトレンズについてです。気軽に印象を変えることができ、ファッションに取り入れられることも多くなってきたカラーコンタクトレンズですが、安全な商品をきちんと理解した上で使用しないと、大きなトラブルの原因にもなります。多くの方が「カラコンは危険！」というフレーズを一度は聞いたことがあるでしょう。なぜ危険なのでしょう？今月の「ほけんだより」をよく読んで、カラーコンタクトレンズの危険性について考えてみましょう。

カラーコンタクトレンズはどんなものなの？



カラーコンタクトレンズは、コンタクトレンズに茶や青などの色彩を施した器具のことで、おしゃれを目的として使うことが多いです。度が入っていないおしゃれ用は、元々は、雑貨の扱いでしたが、目の障害が多く確認されたことで高度管理医療機器と決められ、薬事法の対象規制に追加されました。

気軽に入手できることで、安易な考えで購入し、正しく使わない人たちがいるため、トラブルも多いと言われています。

カラーコンタクトレンズの危険性



1 色落ち

こするだけで色落ちしてしまうものもあります。また、色素が直接目に触れないように着色されているものでないと、目の表面に傷がつくこともあります。色素が直接目に入らないような製法だから大丈夫だといっても、目の中でレンズが破れて色素が漏れ出す危険性もあるのです。

2 酸素透過性が低い

普通のコンタクトレンズに比べて、カラコンの酸素透過性は1/5程度しかありません。そのため、目が酸素を求め、白目の毛細血管が膨張し、目の充血を引き起こしてしまうのです。



コンタクトレンズは、眼科で処方されたものだとしても、完全に安全なものはありません。使い方を間違えれば失明する危険性もあります。だからこそ、眼科で目の状態を確認した上で、購入することが非常に大切です！

3 依存性

カラーコンタクトレンズを日常的に使用していると「カラコンをしていない自分は自分ではない」と思ってしまう人もいます。「パートナーの前でもはずすことができない」と言う女性もいるみたいです。

4 手軽に買える

最近ではドラッグストアやバラエティショップなど、手軽にカラーコンタクトレンズを買えるところも増えてきました。眼科で処方されて買うものではないため、バラエティショップの中には「目に異常が起こっても店側は一切責任を取れない」ことを了承させた上で販売しているところもあるようです。

カラーコンタクトレンズを使う際の注意点

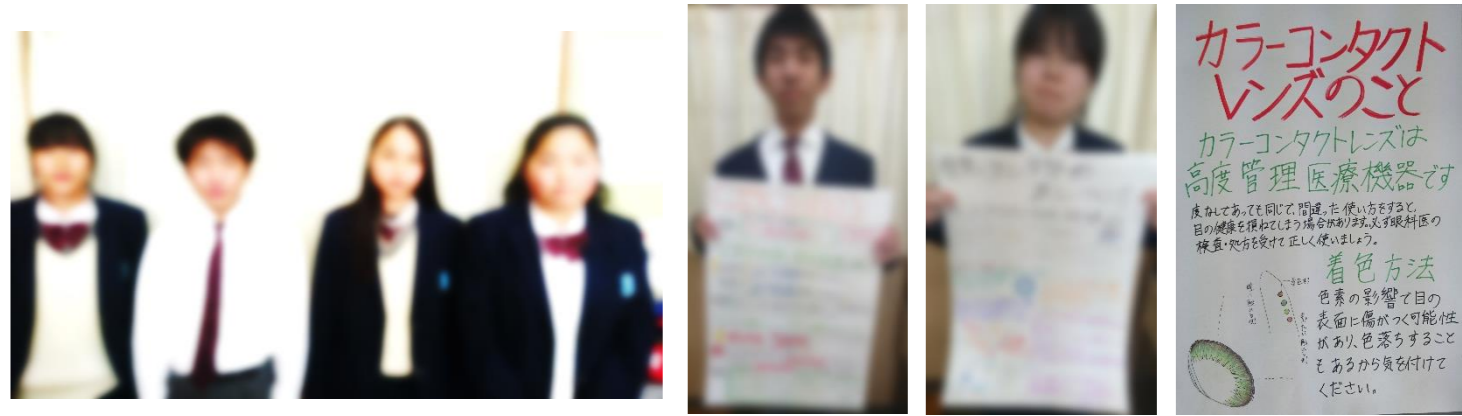
基本的な使い方や注意点は、通常のコンタクトレンズと変わりません。しかし、カラーコンタクトレンズの場合は特に女性の使用者が多く、メイクと併せてすることが多いと思います。そこで、特に注意してほしいのは「コンタクトをつけるのはメイクをする前」「コンタクトをはずすのはメイクを落とす前」ということです！これは、通常のコンタクトレンズでも同様です。



学校ではカラーコンタクトレンズもメイクも禁止されていますが、休日などにおしゃれを楽しむときは、特に気をつけてね！

これらの注意点を守らないと、目を傷つける原因にもなります。カラーコンタクトレンズを使用する場合は、気をつけて使用し、目を守りましょう！

今月の「ほけんだより・ポスター」は私たちが作りました！



保健委員の感想

- ・自分はコンタクトレンズやカラーコンタクトレンズを使ったことがないけど、正しく使わないと失明することもあると知り、怖いと思いました。
- ・カラーコンタクトレンズを使用する一人として、きちんといろいろなことに気をつけたいと思いました。
- ・コンタクトレンズはつけたことがないけど、危険もあることがわかったので、つけるときは正しくつけたいです。
- ・目を守るためにも、コンタクトレンズは気をつけて使わなければいけないなと思いました。

今月の編集長コメント

みんなが作ってくれたものをどこに配置するか、どんなデザインにするのか悩みました。みなさんが見やすいように作ったつもりなので、見てくれると嬉しいです。